

提 案 の 概 要

施設名： 都福社会館
社会福祉法人
団体名：名古屋市千種区社会福祉協議会

1 福社会館業務

(1)管理運営全般について

①施設管理運営の基本方針等

- 高齢者が心身ともに健康で、地域で安心して生活できるように、必要な事業を展開します。
- 高齢者と地域のネットワークを作り、様々な問題を解決できるように取り組みます。
- 高齢者が何でも気軽に相談できるよう、話しかけやすい雰囲気を作ります。
- 意欲のある高齢者が集い、地域活動を行う拠点となるような取り組みを行います。

②管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

- 職員配置は原則として、これまでに館運営の経験を積んだ現有の職員を配置します。
- 本会及び名古屋市社会福祉協議会が擁する、社会福祉士等の専門資格を持った人材を始め 福祉分野の経験が豊富な人材から、適切に確保します。
- 職員の育成は、研修や連絡会等により、専門性の向上や情報交換を図り、質を高めます。

(2)事業運営の実施計画について

①生活相談及び健康相談

- 生活相談は日常生活上の悩みを気軽に相談できる雰囲気づくりを心がけ、別室を使用してプライバシーに配慮します。解決に向けたアドバイスや窓口の紹介など、スムーズな情報提供に努めます。
- 健康相談は区医師会の協力のもと、健康維持や疾病予防の助言や指導を行い、特に熱中症・感染症予防に力を入れ、個別対話形式を重視して啓発に努めます。

②教養の向上及びレクリエーション等に関する事業

- 生きがいや楽しみづくりの契機として、初心者を重視した講座を数多く開講します。
これまでも、「健康マージャン」を他館に先駆けて取り入れてきました。新たに「男性の活力張り」「女性の魅力アップ」「ボイストレーニング」など、時代のニーズに対応した講座を実施していきます。
- 講座の卒業生や趣味のグループ（同好会）による活動を、活動場所の提供などの形で支援します

③機能回復訓練の実施

- 理学療法士を講師として、介護予防の視点に立って、体力に自信のない方や運動経験のない方でも無理なく続けられるリハビリ体操を行います。
- 高齢者の健康について専門的知識がある講師を招き、体力の維持・増進を、仲間同士で楽しく笑いながら行います。

④その他の事業

- 会館職員が講師を務める「元祖お気楽講座」を随時開催します。内容は「折り紙」「健康講座」など、利用者が興味を持って楽しく気楽に参加できるものを工夫します。
- 大変好評をいただいている「歌好き仲間この指とまれ」（サロン）を引き続き毎週火曜・金曜に行い、懐かしの歌を皆で歌って、仲間づくりと憩いの場づくりに活用します。
- 会館に登録いただいているボランティアが運営する喫茶サロンを、利用者の憩いの場として継続していけるように活動の支援をします。
- 地域住民の方も気楽に立寄れる「名古屋市北部回想法センター」を回想法の拠点として活用するほか、回想法を地域へ広めながら、地域との連携を強めていくために、職員が地域へ出向いて行う出前回想法を引続き積極的に進めます。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

■ 人件費

経験豊かな人材や必要な資格を持つ専門職を安定的に確保するのに必要な人件費として、限られた予算の中、経営の効率性を図ることで、前回の申請時と同額を積算しています。

■ 物件費

経営の効率性を確保しつつ、安心・安全で質の高いサービスを提供するのに必要な額を積算しています。

■ 収支予算

費目	金額(千円)	内訳(積算根拠)
人件費	23,081	給料、諸手当、法定福利費、福利厚生費
物件費	10,823	
賃金	0	
報償費	2,887	講座講師・嘱託医師謝金、福祉電話ボラ交通費、講座講師委託費
旅費	10	市内出張旅費
需用費	3,450	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、新聞購読料、来客用お茶代、会議用お茶代
役務費	305	電話・FAX・インターネット料、送料、手数料、施設賠償保険料、給与計算手数料
委託料	2,601	ごみ収集、日常清掃業務委託、機械警備、浴場水質検査、定期清掃、窓ガラス清掃、受水槽・自動扉・ボイラー・シャッター保守点検、苦情相談負担金、安心安全委員会費
使用料賃借料	70	会計システム USB 賃借料、AED リース料
備品購入費	100	事務・事業用備品購入
公課費	4	
その他の経費	1,396	
小規模修繕費	1,322	
合計	35,226	

(注) 平成 28 年度予算